

4-1 ガバナー誕生

2012～13年度の第59代地区ガバナーは、ローテーションに従うと4R から輩出することになり、その為には2010～11年度の第2副地区ガバナー候補者を4R から出す必要があるので、2009年(倉敷西LC31代の時)にリジョン内で調整がもたれたが、どのクラブも立候補者がおらず、このままではパスという不名誉な事態になりかねない状況になった。

こうした状況を見て、「最大会員数を有する我がクラブが何とかしないといけない」と感じた当クラブは渡部雅文に立候補を要請し、資格を得るために2009年11月より児島鷲羽ライオンズクラブの北島RCに役職を交代していただいた。クラブから正式に候補者として推薦した結果、2010年4月に開催された第56回地区年次大会(倉吉)にて、渡部雅文が2010～2011年度の第2副地区ガバナーとして正式に選出された。

一井ガバナーを補佐して第2副地区ガバナーとして活躍した渡部雅文は、翌2011年4月の第57回地区年次大会(岡山)にて2011～2012年度の第1副地区ガバナーに選出され、第58代金岡ガバナーを補佐すると共に、当クラブの萩原 晁が同年度のキャビネット副幹事、伊澤新一がキャビネット副会計としてキャビネットに入り、次年度に備える体制をとった。

こうした状況を受けて、我がクラブとしても、2010年5月に「ガバナー準備会」を立ち上げ、同年10月からは「第59代キャビネット準備委員会」という正式な特別委員会を組織してバックアップ体制を取った。同委員会は、2012年6月に地区年次大会事務局に業務を引き継ぎ解散するまで10回の会合を重ね、キャビネットや年次大会事務局に派遣する人選、地区年次大会(前夜祭、ゴルフ大会、代議員総会、大会式典)の基本構想の策定、第58回地区年次大会(高梁)で行う次期開催地紹介プレゼンテーションの準備等を行った。

2012年4月に開催された第58回地区年次大会(高梁)において、渡部雅文が第59代ガバナーエレクトとして選出され、同年6月に釜山で開催された国際大会に於いて、ついに渡部ガバナーが正式に誕生した！！



4-2 第59代ガバナーとしての1年

渡部ガバナーを補佐するため、当クラブからも以下のメンバーをキャビネット役員として送り込み、強力なサポート体制を取った。

| | |
|-------------------|-------|
| キャビネット幹事 | 萩原 晁 |
| キャビネット会計 | 伊澤 新一 |
| キャビネット副幹事(年次大会担当) | 山本 達也 |
| 地区広報委員長 | 藤澤 勝彦 |
| 地区大会委員長 | 滝沢 昭彦 |

こうした体制の下、2012年7月から第59代ガバナーに就任した渡部雅文は、以下のスローガン、キーワード、5つの方針の下に活動を行った。

地区アクティビティースローガン：『未来へ行動を』

地区ガバナーキーワード：『地域と共に相互の絆で笑顔の奉仕』

地区ガバナー方針：

- (1) 会員維持・獲得に向けた行動を今起こそう
- (2) エクステンションを積極的に進めよう
- (3) 未来のビジョンを構築しよう
- (4) 地域と共に奉仕活動をしよう
- (5) 国際的な大会に参加しよう

この中でも、当初から最も力を入れて取り組んだことは会員増強活動であり、1993年6月末の 6,522 人をピークに毎年減少を続け、2012年6月末には 3,000 人割れ目前の 3,047 人まで減ってしまった会員数を何とかプラスに転じさせることに注力した。

その為の方策として、通常の会員勧誘活動のみならず、今までライオンズの活動に興味を示してくれなかった、あるいは敷居が高いと感じていた人達を取り込むための「クラブ支部の結成」を強力に推進し、またこうしたガバナーの考えや思いを各クラブに直接訴えるため、全クラブ個別公式訪問という破天荒な行動に出た。

この全クラブ個別訪問は、27代小田廣土ガバナー以外誰もやったことがない大変な労力を要する壮挙であり、当初は賛否両論色々あったが、渡部ガバナーは固い決意の下に7月から12月までかけて地区内96クラブとレオ1クラブ、ネス1クラブの合計98クラブを全て訪問し、「純増1名にて今期6月末を終え、次期にお渡し下さい」とお願いして回った。

こうしたガバナーの熱意が通じて、期末までに以下の7つの支部が結成され、会員数も期首の 3,047 人に対して**期末 3,065 人(純増18人)と19年ぶりに純増**に転ずることが出来た。

第4章 渡部ガバナー誕生、複合協議会議長就任！！

これは過去19年間どのガバナーも目標に掲げながら達成できなかったことであり、渡部ガバナーの最大の功績といえよう。

渡部ガバナー在任中に結成されたクラブ支部

| R Z | 親クラブ名 | 支部名 | 支部結成年月 | 支部結成時 人数 |
|-----------|-------|-----------|----------|-------------|
| 5R-2Z | 倉敷平成 | NAKA | 2012年10月 | 6 |
| 3R-3Z | 奈義勝北 | 友愛 | 2012年11月 | 6 |
| 3R-1Z | 津山鶴山 | 津山鶴山平成 | 2012年12月 | 5 |
| 3R-1Z | 津山衆楽 | 津山黎明 | 2013年01月 | 7 |
| 1R-1Z | 岡山 | 岡山さくら | 2013年04月 | 11 |
| 7R-1Z | 鳥取久松 | SHIROYAMA | 2013年05月 | 13 |
| 5R-2Z | 倉敷天領 | 新倉敷 | 2013年05月 | 19 |
| 336-B地区合計 | | | | 67 |



ウェイン・A・マデン国際会長ご夫妻とともに

4-3 地区年次大会の開催

ガバナーとしての最大の行事は地区年次大会の開催であるが、この失敗の許されない大会をガバナーを輩出した我がクラブが取り仕切って実行する必要があるということから、開催の1年半位前から前述の「第59代キャビネット準備委員会」で基本的な検討を開始した。

当初から渡部ガバナー(当時は第1副地区ガバナー)より以下の3つの基本方針が示され、これにしたがって計画を進めた。

- ① 少なくとも大会式典は玉島の地で行う
- ② メンバー全員から毎月年次大会費を頂いている以上、登録制限は行わない。
- ③ 昼食までに全ての行事を終了する

一番の問題は、インフラの整っていない田舎町で本当に①と②を両立させることが出来るのか、ということであったが、幸いなことに1,000名収容の玉島文化センターの隣に、300名収容のホールを持つ玉島市民交流センターがオープンしたので、後者をサブ会場に使用して式典を同時中継するという離れ業を使えば何とか出来るだろう、という構想の下に計画を進めた。

また、ホストクラブは4R-1Z、2Zの13クラブとし、前夜祭は担当の水島LCのホームグラウンドの倉敷シーサイドホテル、記念ゴルフ大会は担当の倉敷南LCのホームグラウンドの鷺羽ゴルフクラブで開催すること等を決定し、以後は2012年9月に開設された大会事務局とホストクラブで細部の検討・準備を行った。

渡部ガバナーも全クラブ公式訪問の度に、我がクラブのキャビネット役員も機会あるごとに大会のPRに努めた結果、大会登録1,404名、ゴルフ大会登録161名(予定150名)、前夜祭登録139名(予定130名)という予想を上回るご登録を頂いたのは、誠にありがたいことであった。反面、こんな田舎町でご満足いただけるおもてなしができるのか、当日大きな混乱は無いのか、昼食は、駐車場は……等々、課題や不安やプレッシャーも膨らんで来たが、多くの皆様より絶大なご支援を頂き、また両日とも絶好のお天気という神様の味方もあって、大きな混乱や失敗もなく無事大会を終了することが出来た。

このような大きな大会は、我がクラブの力だけでは到底運営することは出来なかったが、各部会を担当して頂いた4R-1Z、2Zの13クラブの皆様には特に多大なるご支援を頂いた。計画から当日の運営・進行までクラブの総力を挙げて取り組んで頂いたゴルフ部会、前夜祭部会の皆様、会場周辺の駐車場確保に奔走し、当日は朝早くから駐車場整理や案内に汗を流して頂いた駐車場部会の皆様、2回の試食会を経てお弁当業者と共に改良を重ね、彩り鮮やかで美味しいお弁当を準備し、当日は大会式典にも参加せずにお弁当の配布作業やゴミ回収にご尽力いただいた昼食部会の皆様、前々日の袋詰め作業や前日の会場設営作業、当日の受付、来賓接待、委員会や投票、代議員総会のために大

第4章 渡部ガバナー誕生、複合協議会議長就任！！

勢のメンバーを動員していただいた各部会の皆様……。こうしたホストクラブの皆様の協力を深く感謝すると共に、いざという時には一致団結して協力するライオンズクラブ精神を見せ付けられた思いがした。

また今回は、第55回大会（津山）以来4年ぶりに姉妹地区の300-E1（台湾高雄）のメンバーが参加されるので、失礼の無いようなおもてなしをしなければいけないという頭の痛い問題も有ったが、1週間前になってやっと参加メンバーやスケジュールが確定するという悪条件の中、河合委員長以下YCE・国際協調委員会の皆様には多大なご協力を頂いた。空港へのお出迎えから大会翌日の高松観光まで、朝から深夜まで台湾メンバーのおもてなしに奔走する委員長や委員の方々の姿を見て、邱ガバナー始め台湾メンバーの方々にも、こちらの熱意と歓迎の心を充分感じて頂けたものと確信している。

この他にも、渡部ガバナー夫人を始めとして、会場入口で来場者のお出迎えに華を添えていただいた倉敷西LC奥様部隊の皆様、大変好評だったお抹茶接待ブースを一手に引き受けて采配を振るって頂いた総社LCの福島 登さん、前夜祭や大会式典の通訳としてご協力頂いた岡山後楽LCの劉渤海さん、アトラクションで大会に華を添えて頂いた市民ミュージカル「湊桜」や双子デュオ「まゆみゆ」の皆さん、そして事務局専従の事務員として、11月から4月まで膨大な事務処理作業をサポートしていただいた岡田さん……。こうした多くの人達に助けて頂いた。

これら裏方として大会を支えてくださった多くの皆様、そして多数のご参加を頂き大会を盛り上げてくださった336-B 地区全ての皆様に、重ねて心より御礼申し上げます。



336-B 地区 第59回年次大会(2013年4月14日)



奥様部隊がお出迎え



玉島文化センターロビーの受付、パネル展示



大好評のお抹茶接待コーナー

第4章 渡部ガバナー誕生、複合協議会議長就任！！



オープニングアトラクション 市民ミュージカル「湊桜」



キャビネット3役入場

第4章 渡部ガバナー誕生、複合協議会議長就任！！



滝沢大会委員長 挨拶



伊東 倉敷市長 祝辞

4-4 複合地区ガバナー協議会議長就任

2013～14年度の336複合地区ガバナー協議会議長は、336-B地区から出すローテーションになっており、前年度ガバナーの渡部雅文が地区から推挙され、2013年5月に開催された336複合地区 第59回年次大会(広島)にて正式に次期複合協議会議長として紹介された。

この役職は、336-A～D地区の442クラブ、約15,000人のトップに立つ重責を担っており、日本ライオンズで8人しか居ない複合協議会議長を我がクラブから輩出できたことは極めて名誉なことであった。

